

## 1 学校教育目標

広い視野をもち、夢を追いかけ、未来にはばたく人間を育成する。

- ・自ら学ぶ人
- ・協力しあう人
- ・健やかな人

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学ぶ生徒を育む学校</li> <li>・豊かな心を育む学校</li> <li>・地域が誇れる学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標をもって自ら学ぶ生徒</li> <li>・規範意識をもって互いに協力しあう生徒</li> <li>・健康を意識し、体力向上に努める生徒</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向上心をもって実践力、指導力を高める教師</li> <li>・生徒に寄り添い、情熱をもって職務を遂行する教師</li> <li>・生徒、保護者、地域から信頼される教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 1 学校の現状

学校生活では、落ちついた雰囲気の中で教育活動が継続して行われ、生徒たちは笑顔と元気なあいさつをして、授業や学校行事・生徒会活動・部活動等に意欲的に取り組んでいる。特に、本校の二大行事である「運動会」と「江北桜祭」においては、生徒アンケートや事後の作文等で表れているように高い達成感を体験する場となっている。両行事とも生徒が中心となり実行委員会を組織して、協力し、各クラスや学年の団結力を高める活動ができる行事となっている。生徒たちは、委員会や部活動などの生徒会活動にも積極的に取り組んでいて、生徒の自治の力を育むことができる活動となっている。また、ボランティア活動に取り組む生徒も年々増加するなど、地域と一体となった教育活動にも広く取り組んでいる。

### 2 前年度の成果と反省

<成果>

○令和6年度区調査通過率は、令和4年度60.8%から67.3%に+6.5%大きく上回った。

基礎学力の定着に向けた、学習コンテストや家庭学習ノートの点検活動など地道な指導の成果が表れた。

○生徒会活動へ意欲的に取り組む生徒が増加し、全学年の交流レクリエーション（生徒会企画）や他学年への応援活動など、生徒の企画・運営による活動により、生徒同士の健全な交流が深まり、学校全体の生徒活動が活性化した。

○生徒アンケートより「仲間を大切にし、思いやりの気持ちをもって仲間と接している」の問いに対して、肯定的評価が96%あった。仲間同士のトラブルも見受けられる場面もあるが、素直な自分の気持ちをもつ中で、トラブルを解決し、良い関係を築こうと努力している様子が見られた。

<課題>

- 非常に多くの生徒が定期テスト前に学校図書館を活用し、自学・自習に取り組んでいる。日常的に学校図書館で自学・自習に取り組んでいる生徒の姿も見られるが、さらに増やしていくことが課題である。
- デイリーノート等の提出はほぼできているが、家庭学習の習慣化についてはまだまだ努力が必要である。生徒が自ら課題を見つけ、学習に取り組む習慣を身につけさせていくことが課題である。
- 特別支援教室の運営は順調にできているが、通常学級の生徒・保護者および教員も含めて学校全体で特別支援教育の理解促進を深め、組織的に取り組むことが課題である。

#### 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心をもつ生徒の育成	○	○	○	○	○

#### 5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン				
A 今年度の成果目標		達成基準（目標通過率）				
基礎学力の定着と自ら学習に取り組む生徒の育成		年度末到達度確認テスト 令和6年度区調査	正答率 通過率	60%	61%	
B 目標実現に向けた取組み						
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)
1 継続	授業改善とICTを活用した授業推進	全教科	年2回	足立スタンダードに即した授業改善と効果的なICT機器を活用した授業の実践。	年2回の授業観察時に実施の確認	全ての教員の実施を確認し、効果的な授業方法の工夫を検討する。

2 継続	学習コンテスト (漢字・計算・ スペリング)	3教科	年3回	3教科の基礎的内容の定着を図る。 ・漢字7月 ・スペリング11月 ・計算1月	プレテスト 本テストの実施	平均合格率80%を目標とし、 達成感と自己肯定感を高める。
3 継続	読書指導と学力 補充	3教科	年間	朝のベーシックタイムと放課後の学力補充 における読書指導および基礎反復学習	進行管理(計画と実施)	計画の90%以上の実施
4 継続	区学力調査の検 証テストの実施	3教科	9月	区学力調査の検証テストを実施し、基礎学 力の向上を図る。	区学力調査の検証テストの 実施	3教科の通過率、正答率の5%の 上昇
5 継続	家庭学習の習慣 化	全学年 全教科	通年	家庭学習を習慣化させるためにデイリーノ ート、家庭学習ノートを活用し、自学自習 の習慣化を図る。	デイリーノート、家庭学習ノ ートの確認、生徒アンケート の実施	毎日の家庭学習の習慣化、生徒ア ンケート率80%以上。家庭学習 の定着を目指す。
6 新規	中学校授業研修 会の実施	全教科	7月	江北ブロック内の中学校連携において、研 究授業を実施し授業力の向上を図る。	研究授業の実施・確認	研究授業を実施し授業力向上の 成果を確認する。

<b>重点的な取組事項－2</b>		豊かな心をもつ生徒の育成
<b>A 今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>	
豊かな人間性と社会性をもち充実した 学校生活を送る生徒の高い割合	「学習や生活に関する調査」で該当項目の肯定的評価を以下の規準で判断 A=90%以上 B=70～89% C=70%未満	

B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
充実した道徳教育	道徳授業の時間 A=35 回以上 B=30～34 回 C=30 回未満 調査で肯定的評価 A=90%以上 B=70～89% C=70%未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員のローテーションによる道徳授業の実践</li> <li>・いじめ撲滅週間の実施</li> <li>・人権学習週間の実施</li> </ul>
意欲的な学習活動	調査で肯定的評価 A=90%以上 B=70～89% C=70%未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のやる気を引き出す足立スタンダードに基づく授業</li> <li>・学習課題の適切な管理</li> <li>・毎日の家庭学習ノートの確認</li> </ul>
思いやりの心をもった生徒の育成	調査で肯定的評価 A=90%以上 B=70～89% C=70%未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への自主的な参加促進</li> <li>・生徒の自主性を生かした生徒会活動（委員会、部活動、交流活動等）</li> </ul>
読書活動の推進	学校図書館の利用者数（月平均） A=400 人以上 B=300 人～399 人 C=300 人未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の励行</li> <li>・図書委員会の活動活性化</li> <li>・学習活動での学校図書館の利用促進</li> <li>・放課後の自学自習での活用</li> </ul>
体験・交流活動および継続的なキャリア教育	ボランティア生徒数 A=100 名以上 B=80～100 名 C=79 名以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域等での異年齢交流ボランティア活動</li> <li>・体験活動の実施</li> <li>・職場体験及び上級学校訪問 等</li> </ul>